

環境対策、連携が鍵

北経局など 物流、ゼミ開く



自身の経験を紹介する齊藤・北海道物流開発社長

【北海道】北海道経済産業局と北海道運輸局、北海道

道は1月27日、物流効率化セミナーを開催し、企業の物流担当者やトラック事業者らが参加した。

北経局の東川敏文産業部長は「原子力発電所やエネルギー問題など環境対策と効率化は重要な課題だ。し

かし、個々の事業者では限界がある。様々な連携で、経営力アップにつなげていきたい」とあいさつ。

日本ロジスティクスシステム協会（JILS）の北条英・副センター長が、物流コスト削減策とグリーン物流の施策は重なる部分が多いと指摘し、「パートナーシップを着荷主、消費者まで広げ、いかに多くの荷物を少ない燃料で運べるかが鍵。効率化と環境負荷軽減は、コスト削減と経営改善になる」と説明した。

事例として北海道物流開発の齊藤博之社長が「アイスクリームの共同配送から地域産品の共同配送へ『配送ネットワークの合理化によりCO₂（二酸化炭素）排出量を削減』と題し、同業他社やメーカーとの協力で無駄を省き、温度管理

対策を図った経験を紹介した。
(北原 進之輔)